

別記様式第 1

	番	号
	年	月 日
国 土 交 通 大 臣		
	都道府県知事	名 印
〇〇都市計画事業〇〇土地区画整理事業		
の設計の概要の認可の申請について		
〇〇都市計画事業〇〇土地区画整理事業の設計の概要について認可を受け		
たく、土地区画整理法第〇〇条第〇〇項の規定により、申請いたします。		

別記様式第 2

〇〇都市計画事業〇〇土地区画整理事業  
事業計画

第 1 土地区画整理事業の名称等

(1) 土地区画整理事業の名称

(例) 〇〇都市計画事業〇〇土地区画整理事業

(2) 施行者の名称

(例) 〇〇市(〇〇市長)、〇〇県(〇〇県知事)

第 2 施行地区

(1) 施行地区の位置

当該都市内における施行地区の位置を総括的に説明すること。

(2) 施行地区位置図

施行規則第 5 条第 2 項により作成するが、都市計画法第 14 条の総括図に施行地区界をヴァンダイクブラウン、内側縁取りぼかし幅 2 mm で表示したものとする。

(3) 施行地区の区域

施行地区区域内の町、丁目名を記載すること。

(4) 施行地区区域図

施行規則第 5 条第 2 項により作成するが、その配色は次表によること。

区 別	配 色	
	色 彩	方 法
施行地区区域界	ヴァンダイクブラウン	実線(幅 1 mm)で折点には○印(直径 3 mm)を付し、明確に表示すること。
行政区域界	バーミリオン	都道府県界—(・)—にて表示のこと。
		市町村界—・— //
		町字界 ————— //
都市計画区域界	ローズ・マダー	縁取りぼかし幅 3 mm
市街化区域界	//	幅 2 mm 点線
施行地区界に接する区域内外の土地	クロームグリーン No.2	細実線にてこれらの土地について道路筆界、地番等を記入のこと。

### 第3 設計の概要

#### 1 設計説明書

##### (1) 土地区画整理事業の目的

施行地区について当該事業を施行しようとする目的及び区域選定の理由を具体的に説明する。

##### (2) 施行地区内の土地の現況

地区の性格、発展状況等を概括的に述べると共に、地区内人口、その密度、土地利用状況（農地を含む）、街路及び宅地の状況、建物の高度化の傾向、地勢、用排水、上水、ガス等供給処理施設、学校等文教施設、工場の立地状況、地価等について述べる。

##### (3) 設計の方針

施行地区内の土地利用計画、人口計画、公共施設計画、公益的施設の配置等について設計に関する基本構想を述べる。

この場合、地区外との関連を特に記述すること。

住宅先行建設区を定める場合には、これらについて施行地区内の土地利用計画、人口計画、現況に関連して説明する。

##### (4) 整理施行前後の地積

###### (イ) 土地の種目別施行前後対照表

種 目			施 行 前			施 行 後		備 考
			地積㎡	%	筆数	地積㎡	%	
公 用 共 地	国 有 地	道 路						
		公 園						
		広 場						
		河 川						
		運 河						
		船 だ ま り						
		水 路						
		堤 防						
		公共物揚場						
		緑 地						
		計						

	地方公共団体所有地	道公広河運船水堤公緑 だま 共物揚 計	路園場川河り路防場地						
合		計							
地	民 有 地	田畑 宅塩鉱池山牧原墓境運水用た 井保公公雑	地田地沼林場野地地地路池 溝林路園地						
	国 有 地	公用財産 公共用財産 皇室用財産 企業用財産 普通財産 計							
	準 国 有 地	都市基盤整 備公団用地 ○○○○用地 計							
合		計							
保 留 地									
測 量 増 減									
総		計			100			100	

- (注) (a) 公共用地、宅地の区分及び公共用地欄の種目は、土地区画整理法により、宅地の民有地欄及び国有地欄の種目は不動産登記法及び国有財産法によったものである。なお、準国有地の種目欄は便宜上設けたものであって、〇〇〇〇用地以下の欄は、単独立法による公社、公団、事業団（日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、水資源開発公団等）用地を別個に記入する。
- (b) 工区に分けた場合は、工区ごとに作成し、かつ、総括表も作成すること。
- (c) 土地の種目は現況によらず台帳又は登記簿によること。
- (d) 該当のない種目欄は必ず省略すること。
- (e) 宅地の民有地公衆用道路、用悪水路等の欄については、公共団体以外の者が所有する者を記入すること。
- (f) 整理後開設される通路については、公共用地の地方公共団体道路欄に記入すること。
- (g) 法第 95 条の各号に該当する宅地については、備考欄に「○号該当、○筆〇〇㎡」と記入し、合計欄も記入すること。

(ロ) 減歩率計算表

整理前 宅地面積 (台帳地積)	同更正地積 (測量増減を加 減したもの)	整理後宅地地積		差引減歩地積		減歩率	
		保留地 を含め た宅地 地積	保留地 を除い た宅地 地積	公共 減歩 地積	公共保留 地を合算 した減歩 地積	公共 減歩 率	公共保留 地合算減 歩率
㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	%	%

(注) 減価補償金相当額の全部又は一部をもって、整理前の宅地を買収し、減歩率を緩和する場合は、その旨を欄下に記載すること。

(5) 保留地の予定地積

整理前宅 地価格総 額 (予想)	整理後宅 地価格総 額 (予想)	宅地価格 総額の増 加額	整理後 1 平方メー トル当り 予定価格	保留地と して取り 得る最大 限地積	保留地 の 予定 地積	割合	摘要
円	円	円	円/㎡	㎡	㎡		

(注) (a) 整理後宅地価格総額が整理前より減少する場合は、増加額欄に負号

を附して記入し保留地関係欄は記入を要しない。

(b) 保留地として取り得る予定地積の内一部しか予定しない場合は、その割合を示すこと。

(c) 「整理前宅地価格総額」は更正地積により算出すること。

(6) 公共施設整備改善の方針

公共施設整備改善の方針を、用途地域、都市計画街路、防火地域等の都市計画並びに都市計画以外の主要公共施設（道路、河川、運河等）、鉄道、軌道、港湾等の新設及び改良計画、住宅先行建設区との関連において公共施設別に説明すること。

公共施設別調書

区分	名称	道路種別	形状寸法			整備計画	摘要
			幅員(m)	延長(m)	面積(m <sup>2</sup> )		
街路	幹線街路	○、○、○ ○	/				
		○、○、○ ○					
	○○駅前広場	2					
	小計						
区画街路	幅員	8 m					
	〃	6 m					
	小計						
計							
特殊街路	幅員	○m					
	〃計	○m					
通路	幅員	○m					
	〃計	○m					
公園	○、○、○ ○	/					
	計						
水路	○ ○ 水路	/					
	計						
	合計						

(注) (a) 工区に分けた場合は工区ごとに作成すること。

- (b) 公共施設のそれぞれについて都市計画が決定済みのものについては、その決定年月日を摘要欄に記入すること。
  - (c) 都市計画街路については、元1級国道 $\square 2$ 、元2級国道 $\square 173$ 、主要地方道◎、一般地方道○、市町村道◇、の符号によりそれぞれの道路種別を表示すること。
  - (d) 整備計画欄は、各種別ごとに次の事項を記入すること。
    - (イ) 歩車道の区分のある街路については「3.5m－9m－3.5m」等と標準断面を明示する。
    - (ロ) 街路については、平均切盛高、最高切盛高、舗装種別、植樹の内容、照明灯並びに側溝の種類及び規模等を具体的に記入する。
    - (ハ) 公園については、平均切盛高、最高切盛高、舗装種別、植樹の内容、照明灯並びに側溝の種類及び規模等を具体的に記入する。
    - (ニ) 水路については標準断面、構造等を具体的に記入する。
- (7) 土地区画整理法第2条第2項に規定する事業の概要  
各事業別にその事業の概要を説明すること。
- (注) 法第2条2項前段事業の内容を例示すれば、次のとおりである。
- (イ) 事業の施行のため必要な工作物その他の物件の内容
    - ① 法第79条に規定する移転、除却建築物居住者のための一時的収容施設
    - ② 法第93条に規定するいわゆる立体換地の対象となる耐火構造建築物
    - ③ 工事のため設置される仮橋、工事用道路等
  - (ロ) 事業の施行に係る土地の利用の促進のため必要な工作物その他の物件の内容
    - ① 上・下水道管
    - ② 保留地に建築する分譲住宅
    - ③ 既存墳墓整理のため設置する納骨堂

## 2 設 計 図

施行規則第6条第3項により作成するが、細部の表示方法は次表によること。

区 分	凡 例	備 考	
土地区画整理事業施行地区界	ヴァンダイクブラウン 縁取りぼかし幅 2mm	道路種別 街路番号、名称、幅員 を記入すること	
都市計画街路	バーントシーナ 縁取り淡塗潰し		
区 画 街 路	ヴァーミリオン //		幅員を記入すること
河川、運河、水路	コバルトブルー 縁取りぼかし幅 2mm		幅員を記入すること
堤防、護岸	クリームイエロー ホーカスグリーン 縁取り幅2mm 内クリームイエロー 淡塗潰し		
公園、緑地	クロームグリーンNo.1 縁取りぼかし幅 2mm		面積を記入すること
公共物揚場	イエローオーカー 淡塗潰し		
鉄道軌道	セピア //		
官 公 署	ライトレッド 縁取りぼかし幅 2mm		
学 校	ビリジアン 縁取りぼかし幅 2mm		
墓 地	モーブ //		

(注) (a) 実測図を用い、下図（現形）が明瞭に見えるようにすること。

(b) 各施設の敷地について配色すること。

### 第4 住宅先行建設区

#### 1 設計説明書

住宅先行建設区の面積

#### 2 設計図

第3設計の概要の2設計図における設計図に、パーマネントイエロー縁取りぼかし幅2mmで、住宅先行建設区の区域を表示する。

### 第5 事業施行期間

(例) 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

(うち、法第103条第4項の公告の日から 年 月間を指定期間とする。)



第6 資金計画書

1 収入

区 分	金 額	摘 要
国庫負担金又は補助金 県 費 市 町 村 分 担 金 保 留 地 処 分 金 寄 付 金 そ の 他 計		受益者負担金を含む
公共施設管理者負担金		
合 計		

(注) 公共施設管理者負担金摘要欄には事業名称を記載のこと。

他事業施行分

事 業 名 称	事 業 費	摘 要

(注) (a) 当該区画整理事業と併行して他の事業が施行される場合に記載すること。

(b) 「摘要欄」に当該他事業の施行（予定）時期を記載すること。

2 支出

事項			単 位	事 業 量	事 業 費	摘 要		
公共施設整備費	築	道 路	幹 線 街 路	m				
		築造費	区 画 街 路	〃				
	水 路	幹 線 水 路	〃					
		築造費	支 線 水 路	〃				
	造	公 園 施 設 費		m <sup>2</sup>				
		計						
		計						
	移 転	建 物 移 転 費		戸				
		墓 地 移 転 費		m <sup>2</sup>				
		計						
	移 設	電 柱 移 設 費		本				
		ガ ス 移 設 費		m				
		電 纜 移 設 費		〃				
		鉄 軌 道 移 設 費		〃				
		上 水 道 移 設 費		〃				
		下 水 道 移 設 費		〃				
		計						
	法第二条第一項該当事業費	干拓若しくは埋立			m <sup>2</sup>			第3-1- (7)の内容参照
		法79条に基づく一時収容施設			戸			
		法93条に基づく耐火構造建築物			〃			
工事のため設置される仮橋、工事用道路			m					
上 水 道			〃					
下 水 道			〃					
保留地に建築する分譲住宅			戸					
既存墳墓整理のため設置する納骨堂			〃					

事 項	単 位	事 業 量	事 業 費	摘 要
整 地 費				
附 帯 工 事 費				法135条によるもの
機 械 器 具 費				
工 事 雑 費				
調 査 設 計 費				
工 事 費 計				
損 失 補 償 費				
減 価 補 償 費				
計				
借 入 金 利 子				
計				
事 務 費				
合 計				

(注) (a) 建物移転費欄には法第 77 条第 1 項の規定による移転除却費及び法第 78 条の規定による損失補償費を含めて記載のこと。

(b) 損失補償費欄には法第 73 条の規定による土地の立入等に伴う損失補償費を記載のこと。

(c) 調査設計費欄には測量（工事のための測量を含む）、換地、清算事務等に要する費用を記載のこと。

(d) 借入金利子は、保留地処分金を見返りとしたものに限る。

3 年度別歳入歳出資金計画表

区 分		〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	計	摘 要
歳 出	工 事 費						
	補 償 費						
	利 子						
	事 務 費						
	計						
歳 入	国 費						
	県 費						
	市 費						
	保 留 地 処 分 金						
	そ の 他						
	計						
差 引 過 不 足							
借 入 金							

第7 参考図書

1 施行規程

2 法第136条に規定する都道府県農業会議、土地改良区の意見書

3 現況図 (イ) 土地利用及び建物用途別現況

(ロ) 給排水、交通施設、交通量、地下埋設物、土地の所有別現況

4 市街化予想図

(注) 3、4については別紙図面作図要領による。

図面作成要領

現況図

(イ) 土地利用及び建物用途別現況

S = 1 / 2500以上

区 分		凡例	
市	官 公 署 (国、地方公共団体)	ライトレッド	塗り潰し
	都市運営施設 (供給処理運輸通信)	ヴァンダイクブラウン	〃
街	文教施設 (文化財、学校等)	ヴィリジアン	〃
	厚生施設 (医療、運動、社会保護)	ネーブルイエロー	〃
	娯楽施設 (興業、風俗営業)	ヴァイオレット	〃
	専用商業施設 (宿泊、業務、集合施設)	カーマイン	〃
	一般店舗施設	ピンクマダー	〃
	工業施設 { 家内工業 専用工業	スカイブルー	〃
プルツシヤンブルー		〃	
地	住居施設 (独立及び2戸建住宅、集合住宅)	レモンイエロー	〃
聚落地、農漁業施設 (農業、漁業)		クロームグリーンNo.2	
普通緑地	公園、運動場、公園道路、社寺	クロームグリーンNo.1	
	境内地内の園地、公開の庭園、団体園、遊園地	縁取り	淡塗潰し
	墓地	モーブ	〃
その他		無着色	

(注) (a) 市街地、聚落地内の各施設は、その建物に配色し、その敷地は無着色とする。

(b) 堅牢建築物は当該施設をブラック実線にて枠取り表示する。

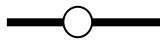
(ロ) 排水、給水、交通施設、交通量、地下埋設物、所有権、種別現況

S = 1 / 2500以上

区 分	配 色
排水路、下水道	淡ヴァンダイクブラウン塗り潰し
上水道、浄水場、取水給水等の施設	■ コバルトブルー塗り潰し 3×3mm 主要配管コバルトブルー 幅1mm
送配電施設 主要送電線	■ カーマイン実線 幅1mm
主要配電線	■ // 幅0.5mm
発 電 所	■ // 塗り潰し幅3×3mm
変 電 所	▲ // // 1辺3mm
ガス供給状況ガス施設	● ヴァイオレット 径3mm
主要配管	■ ヴァイオレット 実線幅0.5mm
道 路 舗 装 道 路	淡イエローオーカー 塗り潰し (舗装の種別を付記)
交 通 量 調査地点毎	パーミリオンにて数量表示
歩行者	
自転車	
低速車 自動車	
	每時間最大

区 分	配 色
所有権 非課税 民有地	淡カドミウムイエロー 塗り潰し
国有地 (公共用地は除く)	淡クロームグリーンNo.1 //
準国有地	淡セピア

(ハ) トレーシングペーパー ((ロ)図上へのせる)

鉄 道	J R		ブラック 幅1mm
軌 道	その他		適宜色別 幅0.5mm
バ ス 路 線	系統別に適宜色別		
定 期 ト ラ ッ ク 路 線	系統別に適宜色別		
航 路	系統別に適宜色別		

区	分	凡	例
住宅地	普通 集合	レモンイエロー	淡塗り潰し
		〃	〃 ヴァンダイクブラウン 縁取り
商業地	店舗 専用	ピンクマダー	〃
		カーマイン	〃
工業地	家内 専用	スカイブルー (コバルト)	〃
		プルツシヤンブルー	〃
河川、運河、水路		コバルトブルー	縁取りぼかし
堤防護岸		クリームイエロー	ホーカスグリーン縁取り
官公署		ライトレッド	縁取りぼかし
学校	小中学校 その他	ビリジアン	〃 ㊦㊧を付記
		〃	〃 ㊨名称付記
公園 緑地	公園 緑地	クロームグリーンNo.2	〃 ㊩を付記
		〃	〃 ㊪を付記
墓地		ヴァイオレット	〃
神社寺院		クロームグリーンNo.1	〃
文化財保護施設		バーミリオン	縁取り名称付記
鉄道軌道		セピア	塗り潰し
都市運営施設		ヴァンダイクブラウン	塗り潰し、各施設名称を付記
厚生施設		ネーブルイエロー	〃
娯楽施設		ヴァイオレット	〃
住宅先行建設区		レモンイエロー	淡塗り潰し バーミリオン縁取り

別記様式第 3

個人施行者保留地登記証明書

土地区画整理法第 3 条第 1 項の規定による〇〇〇〇〇土地区画整理事業について下記のとおりであることを証する。

平成 年 月 日  
都道府県知事 名 印

- 1 同意施行者の有無
- 2 土地区画整理事業の施行前の当該土地区画整理事業の施行地区内のすべての宅地又は借地権の価額の合計額のうち同意施行者が有する宅地又は借地権の価額の合計額の占める割合

(権利価額明細)

氏名又は名称		従 前 の 権 利 価 額		
		自ら有する権利	同意を得た権利	計
同意 施行 者				
	小 計			
そ の 他 の 施 行 者		/		
	小 計			
合 計				